



2020年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月14日

上場会社名 あいホールディングス株式会社
 コード番号 3076 URL <http://www.aiholdings.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 佐々木 秀吉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 吉田 周二

TEL 03-3249-6335

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第1四半期の連結業績(2019年7月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	11,308	24.3	2,471	15.9	2,531	12.7	1,718	8.0
2019年6月期第1四半期	14,935	9.6	2,132	1.3	2,246	0.7	1,591	5.1

(注) 包括利益 2020年6月期第1四半期 1,661百万円 (11.2%) 2019年6月期第1四半期 1,870百万円 (1.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第1四半期	36.29	
2019年6月期第1四半期	33.61	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期第1四半期	61,089	47,709	78.0	1,007.42
2019年6月期	59,815	46,958	78.4	991.55

(参考) 自己資本 2020年6月期第1四半期 47,663百万円 2019年6月期 46,914百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期		20.00		20.00	40.00
2020年6月期					
2020年6月期(予想)		22.00		23.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	5.9	9,000	7.0	9,200	6.5	5,900	9.5	124.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期1Q	56,590,410 株	2019年6月期	56,590,410 株
期末自己株式数	2020年6月期1Q	9,231,762 株	2019年6月期	9,231,672 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年6月期1Q	47,358,691 株	2019年6月期1Q	47,359,473 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、公的需要などの内需が下支えとなるものの海外経済の弱含みにより横ばいで推移いたしました。一方、海外において、米国経済の経済概況は堅調さを維持しているものの、中国経済は米中摩擦による輸出下振れ圧力の影響で停滞局面が続き、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては環境変化に機動的に即応し、効率性や採算性を考慮した社内体制の強化・整備を図り、利益重視の経営を推進いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は113億8百万円（前年同四半期比24.3%減）となり、営業利益は24億7千1百万円（前年同四半期比15.9%増）、経常利益は25億3千1百万円（前年同四半期比12.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億1千8百万円（前年同四半期比8.0%増）となりました。

① セキュリティ機器

セキュリティ機器につきましては、マンション向けの自社更新及び一般法人向けが引き続き好調な中、消費税改定前の需要増加もあり、売上高は36億7千9百万円（前年同四半期比12.5%増）、セグメント利益は16億4千4百万円（前年同四半期比23.7%増）となりました。

② カード機器及びその他事務用機器

カード機器及びその他事務用機器につきましては、病院向けカード発行機事業及び鉄骨業界向けのCADソフト事業がそれぞれ元号の改定、消費税改定前の需要増加から好調でありましたが、NBS Technologies Inc.傘下の非中核事業を売却したことにより売上高が減少し、売上高は16億6千3百万円（前年同四半期比3.9%減）、セグメント利益は4億3百万円（前年同四半期比41.9%増）となりました。

③ 情報機器

情報機器につきましては、海外市場におけるコンシューマ向け小型カッティングマシンの販売が伸び悩み、売上高は32億円（前年同四半期比17.1%減）、セグメント利益は3億9百万円（前年同四半期比21.4%減）となりました。

④ 計測機器及び環境試験装置

計測機器及び環境試験装置につきましては、計測機器が堅調に推移したものの、金属検出機の立ち上げのための先行投資の影響による経費増により売上高は4億4千2百万円（前年同四半期比2.8%減）、セグメント利益は1千1百万円（前年同四半期比31.3%減）となりました。

⑤ 設計事業

設計事業につきましては、売上高は10億2千5百万円（前年同四半期比7.6%増）、セグメント利益は1千8百万円（前年同四半期は4千4百万円のセグメント損失）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間から、「リース及び割賦事業」について量的な重要性が乏しくなったため、報告セグメントから「その他」として記載する方法に変更しております。詳細については「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記」の「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）」をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて12億7千4百万円増加し、610億8千9百万円となりました。主な要因は、流動資産におけるリース投資資産5億2千万円減少、商品及び製品4億3千4百万円増加、投資その他の資産における投資有価証券3億1千2百万円増加等であります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて5億2千3百万円増加し、133億7千9百万円となりました。主な要因は、流動負債における支払手形及び買掛金6億6千8百万円増加、リース債務4億5千4百万円減少等であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて7億5千1百万円増加し、477億9百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益17億1千8百万円の計上、配当金9億4千7百万円の計上等であります。この結果、自己資本比率は78.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年8月19日付の「2019年6月期決算短信」にて公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,318	23,476
受取手形及び売掛金	7,510	7,893
リース投資資産	1,322	801
商品及び製品	4,123	4,557
仕掛品	401	255
未成工事支出金	219	196
原材料及び貯蔵品	938	1,005
その他	1,212	1,366
貸倒引当金	△39	△21
流動資産合計	39,006	39,530
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,827	1,824
土地	6,081	6,052
その他(純額)	1,670	1,868
有形固定資産合計	9,578	9,745
無形固定資産		
のれん	2,659	2,600
その他	336	385
無形固定資産合計	2,995	2,985
投資その他の資産		
投資有価証券	1,977	2,290
関係会社株式	4,308	4,413
その他	2,029	2,204
貸倒引当金	△80	△80
投資その他の資産合計	8,234	8,827
固定資産合計	20,809	21,559
資産合計	59,815	61,089

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,529	4,198
リース債務	940	485
未払法人税等	1,116	788
賞与引当金	163	520
製品保証引当金	0	0
受注損失引当金	8	2
その他	2,562	2,650
流動負債合計	8,321	8,646
固定負債		
リース債務	1,054	1,115
退職給付に係る負債	1,282	1,382
資産除去債務	12	11
その他	2,184	2,224
固定負債合計	4,535	4,733
負債合計	12,856	13,379
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	9,029	9,029
利益剰余金	38,048	38,857
自己株式	△4,702	△4,702
株主資本合計	47,375	48,184
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166	230
為替換算調整勘定	△645	△698
退職給付に係る調整累計額	18	△53
その他の包括利益累計額合計	△461	△520
非支配株主持分	44	46
純資産合計	46,958	47,709
負債純資産合計	59,815	61,089

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
売上高	14,935	11,308
売上原価	9,553	5,662
売上総利益	5,381	5,645
販売費及び一般管理費		
役員報酬	92	83
給料及び手当	1,040	993
賞与	8	9
賞与引当金繰入額	247	262
退職給付費用	52	50
その他	1,807	1,773
販売費及び一般管理費合計	3,248	3,174
営業利益	2,132	2,471
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	0	—
持分法による投資利益	64	44
為替差益	63	5
その他	5	14
営業外収益合計	136	65
営業外費用		
支払利息	1	1
貸倒引当金繰入額	0	—
支払手数料	7	—
事務所移転費用	6	—
その他	8	3
営業外費用合計	23	5
経常利益	2,246	2,531
特別利益		
子会社株式売却益	—	31
特別利益合計	—	31
特別損失		
固定資産除却損	1	3
損害賠償金	—	10
災害による損失	—	7
特別損失合計	1	21
税金等調整前四半期純利益	2,244	2,540
法人税、住民税及び事業税	712	860
法人税等調整額	△62	△40
法人税等合計	650	819
四半期純利益	1,594	1,721
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,591	1,718

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,594	1,721
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	97	69
為替換算調整勘定	203	△68
退職給付に係る調整額	2	△71
持分法適用会社に対する持分相当額	△27	10
その他の包括利益合計	275	△59
四半期包括利益	1,870	1,661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,867	1,659
非支配株主に係る四半期包括利益	2	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間において、連結子会社でありましたNBS Technologies SAS及び中央設計株式会社の株式を全て売却したことに伴い、連結の範囲から除外しております。

また、当第1四半期連結会計期間において、連結子会社でありましたアドバンスフードテック株式会社は、連結子会社であるグラフテック株式会社を吸収合併存続会社とする吸収合併を行ったため、連結の範囲から除外しております。

なお、変更後の連結子会社の数は26社であります。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリテ ィ機器	カード機器 及びその他 事務用機器	情報機器	計測機器及 び環境試験 装置	設計事業	計			
売上高									
外部顧客へ の売上高	3,270	1,730	3,861	455	953	10,270	4,664	0	14,935
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	15	20	17	—	0	53	△3	△49	—
計	3,286	1,750	3,878	455	953	10,324	4,660	△49	14,935
セグメント 利益又は 損失(△)	1,328	284	393	16	△44	1,978	104	49	2,132

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース及び割賦、自動おしぼり製造機の製造・販売、保守サービスの提供並びにソフトウェアの開発・販売等を行っております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額49百万円には、セグメント間取引消去39百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益9百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリテ ィ機器	カード機器 及びその他 事務用機器	情報機器	計測機器及 び環境試験 装置	設計事業	計			
売上高									
外部顧客へ の売上高	3,679	1,663	3,200	442	1,025	10,012	1,296	—	11,308
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	26	114	62	—	0	203	24	△228	—
計	3,706	1,777	3,262	442	1,026	10,215	1,320	△228	11,308
セグメント 利益又は 損失(△)	1,644	403	309	11	18	2,386	50	34	2,471

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース及び割賦、自動おしぼり製造機の製造・販売、保守サービスの提供並びにソフトウェアの開発・販売等を行っております。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額34百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益31百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する情報

当第1四半期連結会計期間から、「リース及び割賦事業」について量的な重要性が乏しくなったため、報告セグメントから「その他」として記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。